

あつ唐(のたより)

2月



発行責任者

西川 晃二

【校長室より】

生きること、愛すること

黒澤明監督の『生きる』は、1952年（昭和27年）に東宝で公開された日本映画の名作である。主演は志村喬。黒澤監督作品の中でも、そのヒューマンイズムが頂点に達したと評される作品で、その題名通り「生きる」という普遍的なテーマを描くとともに、お役所仕事に代表される官僚主義を批判している。主人公役の志村喬は、胃癌に侵される初老の市役所市民課長を静かに、そして鬼気迫り演じた。劇中で彼が Gondra の唄（吉井勇作詞、中山晋平作曲）を口ずさみながらブランコをこぎつつ死にゆくシーンは、名シーンとしてよく知られている。

制作の意図を、黒澤監督は、こう語っている。

「この映画の主人公は死に直面して、はじめて過去の自分の無意味な生き方に気がつく。いや、これまで自分がまるで生きていなかったことに気がつくのである。そして残された僅かな期間を、あわてて立派に生きようとする。僕は、この人間の軽薄さから生まれた悲劇をしみじみと描いてみたかったのである」と。

< Gondra の唄 >

いのち短し 恋せよ乙女
あかき唇 あせぬ間に
熱き血潮の 冷えぬ間に
明日の月日は ないものを

いのち短し 恋せよ乙女
波にただよう 舟のよに
君が柔わ手を 我が肩に
ここには人目も 無いものを

いのち短し 恋せよ乙女
いざ手をとって かの舟に
いざ燃ゆる頬を 君が頬に
ここには誰れも 来ぬものを

いのち短し 恋せよ乙女
黒髪の色 褪せぬ間に
心のほのお 消えぬ間に
今日はふたたび 来ぬものを

さて、長い前置きになってしまった。というのも、「生きる」とは、について考えたいと思ったからである。痛ましい佐世保事件を経験した我々には「命の教育」の重要性が改めて喫緊の課題として突きつけられている。国際社会に目を向けるとテロ事件、そしてイスラム国の、敵対する者への見せしめとも言えるおぞましき処刑。戦争はテレビゲーム化し、戦場の空には無人戦闘機が飛び交い、死の実体験を感じさせぬものになっている。ますます生きることが希薄化し、人々の感覚を麻痺させ、憎悪の選択肢しかそこには残っていない。

また、先日のNHKの伝えるところに拠ると、20代後半になっても男女交際を経験しない若者が多いそうである。なぜそうなのかについては、キーワードとして「気まずさ」だという。告白して実らなければどうしよう。いざ交際を始めても別れた後、気まずい関係になったらどうしよう、などとハイリスク・ハイリターンを避け、ローリスク・ローリターンの道を選択するという。私から言わせればこれも一種の生きる力の減退がなせるわざではないかと思ってしまう。相手に惚れ込むよりも、自己愛が強く何事にも消極的になってしまうパターンではないかと一方向的に思ってしまうのだ。他者に愛を注げぬ若者。未婚率の上昇は、少子化社会どころか、絶滅社会・日本となってしまうかねない。

「生きること」「愛すること」こそ「命の教育」ではないかと思う。「汝隣人を愛せよ」とはキリスト教の教えであるが、何も西洋の専売特許でもない。中国古代の墨家集団は「兼愛」を説いた。愛することこそ国家の繁栄につながり、人類の安寧・幸福につながるのである。

「愛」とは普遍のものであり、何も男女の愛のみに限定されるものではない。親子の情愛、師弟の恩愛、生きとし生けるものへの慈愛、そして故郷への想い。五島高校校歌も「聞け黒潮の 愛の歌」で終わっている。愛されてこそ愛することを知るとは言うが、愛されるためにも他者に愛を注ぐことも大事であろう。「情けは人のためならず」である。

明日は卒業式。巣立ちゆく卒業生らに愛を込めてエールを贈りたいと思う。

スポーツコース第10期生「卒業発表会」1月28日（水）

1月28日（水）に、五島高校普通科スポーツコース第10期生の卒業発表会を、本校軽スポーツ場にて開催しました。

3年6組スポーツコース生16名が4班に分かれ、専門科目に関する3年間の学習の集大成として、1班は「応援の効果」、2班は「柔軟性の向上」、3班は「猫背を治す効果的なトレーニング」、そして4班は「朝食が脳や作業に与える影響」についてプレゼンテーションソフトを用いて発表を行いました。堂々と発表する姿に3年間の成長ぶりがみられ、互いに協力し合い実験や研究を進めてきたことを感じることができました。

県教育庁体育保健課の後藤先生から指導助言をいただき、スポーツや日頃疑問に思うことに対して、どのようにその物事を捉えるか、着眼点が必要だと述べられていました。

御多用な中、来賓、スポーツコース保護者の皆様、本校職員など多くの方々に御参観いただいたことに対しまして感謝いたします。本当にありがとうございました



スポーツコース百人一首大会 1月29日（木）

1月29日（木）に五島高校のセミナーハウスにてスポーツコース百人一首大会が開催されました。1年生10名、2年生13名、3年生15名の生徒が参加して、この日のために授業で練習してきた成果を十分に発揮しました。

2試合行った結果、優勝は2年生、2位は3年生、3位は1年生という結果になりました。一生懸命に和歌を覚える姿や、真剣に取り札に向かう姿からは、普段のそれぞれの競技の時とはまた違う一面を見ることができ、とてもいい機会になりました。



衛生看護科

准看護師資格試験出陣式 2月19日（木）

2月19日（木）にメモリアルホールで、准看護師資格試験の「出陣式」を実施しました。受験する3年7組生徒17名と教職員が参加しました。式では校長先生、学年主任の宗田先生、進路主任の阿比留先生から激励をいただきました。その後、生徒を代表して山本彩加さんが「今まで応援し支えて下さった多くの方々に感謝し、明日の准看資格試験では今まで頑張ってきたことを全て出しきり、衛生看護科40回生全員で合格しましょう。」と決意を表明しました。また1・2年生からは「休日も学習に励んだ先輩方なら大丈夫、応援しています。」と折鶴が贈呈されました。最後に、衛生看護科の平野先生から応援メッセージをいただき、生徒1人ひとりが本番の試験への決意を新たにしました。

多くの方に見守られながら今日を迎えられたことを感じる感動的な出陣式で、生徒達にとって大きな励みとなりました。

応援して下さった皆さん、本当にありがとうございました。



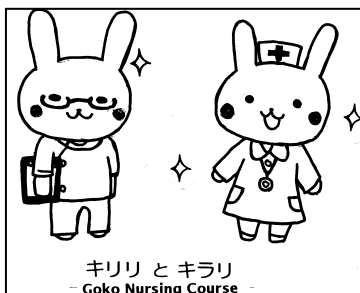
准看護師資格試験を終えて 2月20日（金）

2月20日（金）に、平成26年度長崎県准看護師資格試験が行われ、衛生看護科3年生17名が受験をしました。前日には出陣式をしていただき、当日は、多くの先生方や衛生看護科の1年生、2年生に見送られながら学校を出発しました。会場到着後、これまでお世話になった多くの方々への感謝の思いを胸に、試験開始直前まで真剣に参考書を開いて学習に励む姿がとても印象的でした。

卒業を前にした今は、17名全員の合格を祈ると共に、4月から各々の進学先や就職先で精一杯頑張ってもらいたいと強く願っています。

今回の准看護師資格試験にあたり、これまでご指導、ご支援頂きました多くの方々

に心より感謝申し上げます。



キリリ と キラリ
- Goko Nursing Course -

マラソン大会

1・2年生校内マラソン大会 2月13日(金)

2月13日(金)に校内マラソン大会(男子10km、女子6km)を実施しました。当初冷え込みが厳しく、コンディションが心配されましたが、概ね好天の中で競技を行うことができました。大きな事故やトラブルもなく大会が終わったことにひと安心しております。

この大会に向けて12月・1月の体育の授業で走り込みを続けてきました。本番当日もほとんどの生徒が力を精一杯出し切っていました。大粒の汗をかきながら一生懸命に走るすがすがしい姿や授業を通して成長する姿が大会中に見られたことが印象的でした。

大会前日から、PTA役員の方々にお集まり頂き、豚汁を振る舞って頂き、ありがとうございました。レース後に全校生徒や職員で美味しくいただきました。また、今年度も進路が決定した3年生が大会に参加し、決勝係などの運営を手伝ってくれたことも成功の大きな要因となりました。

持久走・マラソン大会で走る姿を見てみると、その人間性が強く浮き出てきます。是非、自分の走りを振り返り、自己評価をしてください。ひとつの行事を通して、五高生がたくましく成長していくことを私たちは望んでいます。

豚汁炊き出し(PTA進路対策委員会)

今年もマラソン大会後、豚汁の炊き出しがありました。前日から保護者の方が参加して準備をしてくださいました。進路対策委員長の堤様を中心に、今年度も多くの保護者の方々に前日の準備・当日の給仕へご協力いただきました。温かい笑顔での炊き出しに、走り終えた1・2年生と受験勉強を頑張っている3年生は大いにパワーをもらい、これからの励みとなりました。また、堤様には材料の提供もしていただき本当に助かりました。お忙しい中、時間を作っていただき感謝しております。

個人成績(男子) 1位 出口 勇太(2年2組)
2位 元川 頌悟(2年6組)
3位 中村 秀牙(2年5組)

個人成績(女子) 1位 石田 佳那(2年2組)
2位 富永日菜子(1年2組)
3位 松本 栞理(1年4組)

団体成績 1位 1・2年6組(スポーツコース)
2位 2年2組
3位 2年5組



職員研修(マラソン大会前の職員救急法実技講習会)

マラソン大会に備え、五島市消防署職員2名による救急法実技講習会を行いました。心肺停止予防から一次救急までの流れを説明して頂き、心肺蘇生法、AEDの取り扱いについて約1時間かけて学びました。

講習会では胸骨圧迫(心臓マッサージ)と人工呼吸そしてAEDを組み合わせた心配蘇生法を参加教職員全員が体験しました。臨場感あふれる実演とチームワークの良さが印象的な実習となりました。

教職員が正しい知識と技術を持ち合わせているかにより、生徒の生命の維持だけでなく予後にも大きく影響してきます。定期的に講習を受講し正しい知識と技術の定着をはかると共に、行動する勇気を持つ事の大切さを感じました。

ボランティア

小学校への高校生助手ボランティア

今年で7回目を迎える小学校ボランティア事業は、五島市教育委員会と島内各小学校の先生方のご協力・ご指導により、今年度も下記のとおり実施させていただきました。ありがとうございました。

- 趣 旨 母校の小学校で教員の助手として活動することによって、ボランティア精神や勤労観、社会性を養うとともに郷土を愛する心を育てる
- 対象生徒 進路決定済みの3年生で、小学校ボランティアを希望し、さらに本校校長が推薦した生徒19名
- 活動期間 2月2日(月)～2月20日(金)(本校指定登校日を除く)
- 活動場所 福江・緑丘・本山・崎山・奥浦・岐宿・三井楽小学校
- 活動内容 教科指導補助、給食指導補助、読み聞かせ、昼休みの交流、校庭整備など
- 担当者所感 各小学校を訪問し、生徒たちの活動状況を拝見させていただきました。どの生徒も元気いっぱいの小学生との交流や緊張感ある授業の中で、充実した表情を浮かべていたのが印象的でした。
今後は島を離れての生活が始まりますが、この活動を通して得たものを活かすとともに、後輩たちの純粋な心と常に全力投球の姿を思い出し、新天地でも活躍してくれるものと確信しております。

部活動

長崎県高等学校新人体育大会 駅伝競技 2月7日(土) 男子は上位入賞!

女子は9位と昨年から1つ順位をおとす結果になりましたが、チームの中心となった山田美裕さん(2年7組)の甲斐もあり、総合タイムは1分以上更新して生徒全員が全力を出し切りました。今回で高校駅伝が最後となる2年生の想いを託して、来年度の新チームに期待したいと思います。

男子は7位と昨年の22位から飛躍的な結果を残すことができました。男女共に1桁位の順位となり、小浜駅伝では入賞に期待したいところです。今回の結果を自信に繋げ、自信を新たな力に変え、新たな力を来年度の結果として残して欲しいと思います。



生徒達の軌跡が奇跡を起こした新人駅伝。襷に込める熱い想いは、来年度も輝き続けることでしょう。

【結果】 男子 7位 1時間34分41秒 女子 9位 1時間01秒55秒

♪吹奏楽部定期演奏会を実施しました 2月11日(水・祝)

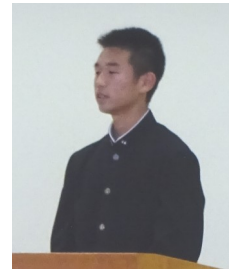
去る2月11日(水)福江文化会館にて、第28回五島高校吹奏楽部定期演奏会が行われました。会場の都合で、例年より1ヶ月早い開催となりましたが、多くの方々にご来場いただき、部員も気合いを入れて演奏会に臨みました。吹奏楽部の生徒をはじめ、4部のステージでは1年音楽選択者の合唱も加わり、温かい雰囲気の中、終演を迎えることができました。日頃より、ご支援ご協力いただき誠にありがとうございます。これからも学校行事や地域行事など、感謝の気持ちを忘れず活動を行なって参りますので、応援の程よろしく願いいたします。



部活動生集会 2月17日(月)

部活動生集会では、茶道部と男子ソフトテニス部の部長が話をしました。茶道部部長の上川康平君(2年1組)は「先輩から引き継いだ伝統を後輩に伝えるために、自分たちは何をすべきであるかを考えましょう。」と話しました。

男子ソフトテニス部部長の竹山凜成君(2年5組)は「4月から2年生は最高学年になり、1年生には後輩ができる。自分たちが先輩である自覚を持って行動したい。」と話しました。



美化コンクール

1・2年美化コンクールが実施されました 2月16・17・20日

2月16・17・20日の3日間、第3回美化コンクールが行われました。美化委員の熱い指導のもと、学校全体で美化強化に努めました。生徒たちは教室をきれいにすることで、学習環境が整うとともに、学校への感謝や愛着がさらに湧いたようです。また、掃除に一生懸命に取り組んでいる生徒たちの姿は、とても輝いていました。前回の美化コンクールでは2年1組が見事「お掃除マスタークラス」の称号を手にし、今回は2年5組が新たな「お掃除マスタークラス」となりました。今後も学校の美化活動を強化し、きれいな学校を生徒とともに目指していきます。